

## 日本一早い『恋姫』出荷産地

JA名西郡  
恋姫生産者会  
鎌田孝義

### 1. 自然の育み

JA名西郡石井地区は、四国三郎吉野川の下流域に位置し、限りなく肥沃な土地と清水に恵まれ、あらゆる野菜栽培の宝庫であります。中でも阿波藍の名で全国に馳せた土地柄でもあります。

### 2. 恋姫との出会い

当JA名西郡は、エダマメ栽培の歴史は古く、莢音・月夜音・サヤムスメ・サヤコマチ・ユキムスメなどの品種を中心に夏作物の主幹をなしてきました。

そんな折、平成19年、SB1014（恋姫の試作番号）の試験栽培を行い、莢の大きさは無論のことながら、花数多く、着莢性にすぐれ、生育旺盛で作りやすい多収品種であり、三・四粒莢の比率もよく、好成績を得るにいたりしました。



▲ 恋姫専用の出荷段ボール箱



▲ ダンボール箱の中は専用FGに入った恋姫がぎっしり



▲ 非常に大きな恋姫の莢  
(通常のタバコ(長さ:  
8.4cm)と比較)

### 3. 恋姫出荷への進化

翌年からは、売れる品種との確信を得て、大型トンネル(通称：ベトコン)から、露地栽培まで広く栽培出来ることを確認するに至りました。

現在は、JA名西郡指導部より栽培暦を作成、5月中下旬頃から大型トンネル栽培を主に、寒冷紗などのトンネル被覆資材や環境にやさしい分解マルチなど多彩な方法を利用して、恋姫の特性を十二分に活かせる技術への確立を図っております。特に開花時から着莢時には、ジャックスパワーの散布が功を奏していることを加えます。

一方、消費者への対応として、出荷方法の改善を試み、県産FGに恋姫シールを貼る従来の型から脱却し、JA名西郡指導部・雪印種苗(株)岡山営業所の担当者などと協議を重ね、他の商品と区別し、完全に付加価値に見合うべく、出荷姿(袋)や箱の作成に至り、高級感を醸し出して、現在は定着しております。

関西市場の消費者からの反響は大きく、恋姫は後味のさわやかで上品な甘さ、モチモチした食感をも楽しむことができます。本当に食べ応えがあり、子供のおやつからお客さんのお茶請けまで、幅広い顧客層の心をつかみ、リピーターを獲得して大いに消費拡大につながっています。



▲ 大型トンネル (通称：ベトコン) が並ぶエダマメ圃場



▲ ベトコン内の様子



▲ 野菜見本市で恋姫を展示。  
右下は恋姫専用のFG「ほなけん  
食べて欲しいんじゃ」



### 4. さらなる展望

関西の消費者からは、5月中下旬頃から、早く届くよう期待は大きくなっています。入荷を待ち焦がれる商品を今以上に確立するため食味の向上、選別の厳選、安心、安全な生産物を売りものとしたと考えております。JA名西郡エダマメのブランドとして、これからも早出しから二毛作栽培も取り入れ、収益アップを目指し、不動の位置を確保していきたいと、恋姫生産者会は頑張っています。

JA名西郡ホームページ：

<http://www.jamyouzai.jp/>